

認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会

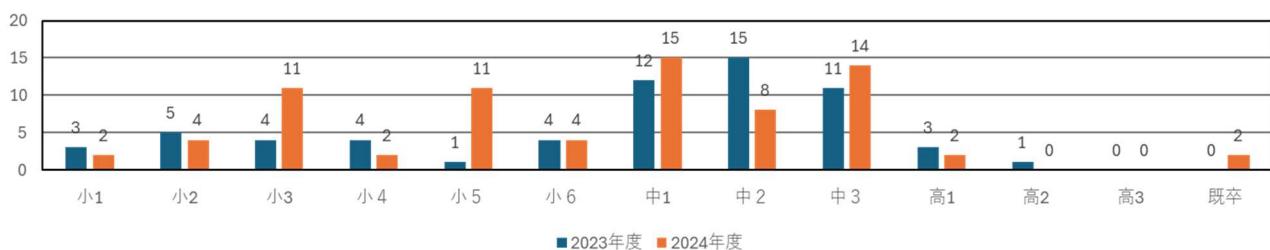
2024 年度特定非営利活動に関する事業報告書

事業の成果

【1】定例勉強会 各教室参加状況(スタッフ数は今年度教室参加者のみ)()数は昨年度

	教室名	開催回数	スタッフ	生徒	学生 スタッフ	対象生徒
定例	火曜教室	41(42)回	12(9)名	9(10)名		小学生
	土曜午前教室	39(38)回	7(9)名	7(9)名		小学生
	土曜午後教室	39(ー)回	11(ー)名	17(ー)名	2(0)名	小学生
	木曜教室	41(40)回	7(9)名	9(12)名	2(1)名	中学生
	文化ホール教室	40(39)回	20(23)名	21(20)名	1(2)名	小学生・中学生・高校生
	新松戸教室	41(40)回	16(15)名	16(12)名		小学生・中学生

参加生徒内訳



生徒の出身国

中国37名、フィリピン6名、ネパールが6名、スリランカ5名、ベトナム3名、以下1名ずつ、パキスタン、カナダ、タイ、カザフスタン、コンゴ、ナイジェリア、モンゴル。

【2】集中勉強会

		開催回数	スタッフ	生徒	学生スタッフ	期間
夏休み教室	小学生	5(5)回	18(4)名	29(18)名	4(12)名	7/23～7/27
	中学生	5(5)回	17(4)名	19(18)名	4(13)名	7/23～7/27
	中学生	4(3)回	12(8)名	17(8)名		8/26～29

受験教室	中学生 既卒生	22(23)回	30(29)名	17(15)名	0(1)名	2024/10/13 ～2025/2/16
		国語 12(12)回・英語・数学各 10(11)回				

《本年度高校進学先》

千葉県立松戸国際高校、同流山北高校、同流山南高校、同行徳高校、同流山おおたかの森高校、同松戸南高校、同松戸南高校（夜間）、同鎌ヶ谷西高校、同市川工業高校、同市川工業高校（定時制）、同立松戸向陽高校（福祉教養科）、同沼南高校、同沼南高柳高校、同浦安南校、柏市立柏高校、興学社高等学院、松戸市立第一中学校みらい分校

【3】広報活動

会報『かけはし』	・33号‘24年4/20発行 ・34号‘24年9/7発行 ・35号‘25年1/17発行
ホームページ・フェイスブックなど	各行事、教室状況、会報、順次更新 QRコードからアクセスできるので、HPを見ての入会の問合せが増えている。

【4】交流事業

	開催日	場所	スタッフ参加	他参加
先輩と話そう会	2024/7/7	ゆうまつど	18(16)名	卒業生 11(8)名・ 在籍生 5(6)名
松戸市国際文化祭	2024/10/12	市民会館	4(4)名	ブースを訪れた 人 70(63)名超
おやこ会	2024/12/7	常磐平市民センター	18(18)名	生徒等 31(33)名 保護者 19(22)名
スタッフ交流会	2025/3/15	イタリアン SPIGA	32(28)名	
バスハイク	2025/3/26	キッコーマンしょ うゆ館 茨城県自然博物館	11(16)名	生徒等 29(29)名 保護者 9(6)名

【5】外部講習会等への参加

月　日	課　題	主　催
2024/8/1	第1回新しい千葉の未来を切り開く「教育立県 ちば」を実現する有識者会議に係る専門部会	県教育庁企画管理部
2024/9/18	第2回新しい千葉の未来を切り開く「教育立県 ちば」を実現する有識者会議に係る専門部会	県教育庁企画管理部
2024/9/29	タペストリーづくり	市政策推進課

2024/10/25	千葉県日本語教育フォーラム	県国際推進課
2024/11/1	第1回松戸市日本語教育推進連絡会議	市教育委員会教育政策研究課
2025/1/5	サッカー交流会 in 柏	多文化共生サッカー交流会
2025/1/31	第2回松戸市日本語教育推進連絡会議	市教育委員会教育政策研究課
2025/2/1	サッカー交流会 in 松戸	多文化共生サッカー交流会
2025/2/8	市民大学講座 流通経済大学連携講座	市社会教育課
2025/2/11	松戸市多文化共生講演会	市国際推進課
2025/2/22	令和6年度第2回日本語教育講演会	松戸市国際交流協会
2025/2/23	オリジナル横断幕作り	市政策推進課

【6】2024年度松戸市協働事業の実施〔協働事業担当課：国際推進課〕

【事業名：日本語を母国語としない子どものための学習支援事業】

協働事業も3年目を迎え引き続き外国をルーツとする子どもの学習面及び生活面を支援するとともに、地域の人々に日本語を母国語としない子どもに対する理解を促す活動に取り組んだ。

(1) 初期指導研修チーム

日付	作業内容
4月～3月	初期指導研究Gによる事業打ち合わせ 15回 延べ74人参加
6月	講演会チラシを市役所本庁舎、各支所に配架依頼。町内・マンション掲示板等にも掲示依頼。HP、松戸市広報に掲載
7月14日	講演会「日本語初期学習の支援を考える」 松戸市民会館 86名参加 講師：NPO法人プラスエデュケート 森顕子氏
10月	学習支援現況調査会員アンケート実施
12月15日	日本語初期指導研修会 於) KEN日本語学院 26名参加 講師：KEN日本語学院 軍司聖子氏
2025年3月	初期指導「支援のしおり」を作成、全会員配布用と新規会員用

・スタッフ養成講座開催

市民の中で日本語指導に興味を持つてもらう機会になり、会への参加希望者にも日本語指導の基礎を学べる場としてスタッフ養成講座を企画した。広く呼びかけたので思ってい

たよりもたくさんの参加者があり、ニーズに合った講演会だった。

・今年度の活動を通して、初めて参加してくれる学生も含むスタッフに日本語初期指導の入門を冊子としてまとめたので今後に生かしていきたい。

(2) オンライン検討チーム

日付	作業内容
6/22, 7/20, 10/19, 12/21	「オンライントークしよう」 延べ生徒参加者 6 人 日本語会話練習を目的に土曜日夕方に開催 在籍中学生に呼びかけフリートーク形式で自己紹介・部活・好きなアニメなど話しあった。
1/18, 2/1, 2/15	「オンライントークしよう」 延べ生徒参加者 3 人 在籍受験生対象に声がけし面接練習を行った。 志望動機・将来の夢など日本語で相手に伝わるよう練習した。
1/9, 1/16, 1/23, 1/30, 2/6, 2/13, 2/20	「ESCO の日本語会話ルーム」 延べ生徒参加者 11 人 教室に通えない既卒生対象に木曜日午前に開催 自分の国の紹介・文化の違いなどのテーマで、お互い知らない同士でも助け合いながら会話を進めた。

教室で行っていない日本語の会話練習をどう行うか検討し「オンライントークをしよう～日本語で話そう」を企画。特に高校受験をひかえた生徒たちの面接対応も念頭に質問に答えたり、好きなことを話す時間を用意した。募集は企画毎にチラシを配布した。

(3) 大学連携チーム

日付	作業内容
4月	流通経済大学共創社会学部教授と学生が教室見学 スタッフとの意見交換会実施
5月～10月	千葉商科大学国際教養学部学生の多文化共生授業の一環として当会教室見学実施。外国人生徒指導体験
6月	夏休み教室参加募集のチラシを市内全小・中学校に教育委員会を通じ配架依頼
7月 21 日	流通経済大学の「海の日フェスタ」に参加
7月 23～27 日	夏休み教室への学生参加 5日間で大学生高校生延べ 18 人参加
2月	バスハイクチラシ作成全生徒と 2 大学の先生宛配布
3月 26 日	「進級進学おめでとうバスハイク」にスタッフとして学生参加

・本年度は周辺大学との交流深化を図った。

千葉商科大学、流通経済大学イベントへの参加により、大学・学生・地域住民への当会活動のアピール、多文化共生へのアピールを行ったもので、今後も継続して行きたい。

(4) 居場所交流チーム

地域との協働を目指す本年度事業としてスタートしたが、常盤平団地自治会・子供食堂まんぶく小屋・当勉強会の3者プロジェクトという方向に進んだ。さらにまつどNPO協議会協働活動助成金も受けられることになったため松戸市協働事業からは外れ、別に地域交流事業として活動した。

現在も「子どもの居場所 in 常盤平団地」として毎月曜日開催され、日本人生徒と共に日本語支援の必要な外国人の子どもも毎回訪れている。

【7】財務改善への対策検討と実施

2024年度を迎えるにあたり、2022年度・2023年度と2年連続で▲40万円超の赤字決算となったことへの対策が、理事会で協議された。赤字の原因としては、従来の4教室に加え2020年9月新松戸教室・2023年9月土曜午後教室の2教室を開設して6教室体制にしたことにより運営費が増加したこと、一方で寄付金額の漸減傾向がみられること、が挙げられた。更には松戸市協働事業助成金（年上限50万円）は2024年度が最終年度であり、当該助成金終了後となる2025年度以降の財務も懸念された。

(1) 2024年度実施の対策：クラウドファンディング実施

この状況を踏まえ、2024年度では各種経費の見直し徹底を図る一方、まずは早急な赤字補填策として本年度にクラウドファンディングを実施することとした。実施期間は5月15日(水)から6月28日(金)までの1ヶ月半、目標額1百万円として開始したが、合計65名の地域住民や全国他都府県の方々から最終102万円8千円の寄付をいただき、目標額を達成して終了した。ご寄付いただいた方には領収書と直近の会報に礼状を添えてお送りしている。今後の運営資金原資として大事に使わせていただく所存。

(2) 2025年度以降の対策：生徒参加費の値上げ

財務強化策として、2024年度クラウドファンディングの実施および各種経費の徹底見直しが行われ、それらが実施実現される一方2025年度に向けての収入増加策が検討され、2025年4月より生徒参加費の値上げ案が採り上げられた。理事会での協議の結果、現在の年間9,000円から変更後年間11,000円と決定された。学期毎に3,000円で3回払いから、1・2学期4,000円と3学期3,000円とするもので毎月1,000円（夏休みの8月除く11ヶ月が対象）の計算となる。学期途中入会時の参加費計算が明快となる利点もある。2025年3月には既存生徒保護者向けに生徒参加費値上げの説明書を配布済であり、新年度4月よりの円滑な移行を期している。

【8】らくらく連絡網の更改

当会会員の連絡手段として利用してきた「らくらく連絡網」が事業者から運用終了の通知が有り新機能の「らくらく連絡網+」に移行することになった。

2025年2月中には75名全員の新機能移行が終了し、連絡網として使用を開始している。